

# よこすか E C O 通信



第25号(平成29年6月)

発行:横須賀市・環境教育・環境学習ネットワーク会議

## 6月は環境月間です



### 環境月間って？

毎年、6月近くになると「環境月間」という言葉を聞いたりポスター等で見かける機会が増えます。それは、**6月5日が「世界環境デー」**であることが関係しています。

1972年6月5日からストックホルムで開催された「国連人間環境会議」を記念して、国連では日本の提案を受けて6月5日を「世界環境デー」と決めました。

日本でも環境基本法（第10条）で**6月5日を「環境の日」と定め、6月を環境月間と**しています。

コフィー・A・アナン氏が国連事務総長時代に「世界環境デー」に寄せたメッセージがあります。このメッセージの中に「世界環境デー」や「環境の日」「環境月間」って？と考える時に参考になる言葉がありますので、ここに紹介します。

今日（6月5日）は、環境がそれ自体尊重されるべきで、単に私達の必要性を充足する手段として捉えられるべきではないことを想起する日です。私達は、人間の富と経済発展が究極的に、地球の資源から派生するものであること、しかもその地球は一つしかないことを理解しなければならないのです。「世界環境デー」は私達が環境を当然のものとして見なすべきでないことを認識する日でもあります。（国連広報センターHPより）

環境月間の6月は、関係省庁をはじめとして各地で様々な行事が行われています。

横須賀市も環境月間にあわせて「省エネ・節電」をテーマにイベントを開催します。

キャンドルホルダーづくりや発電体験をとおして、みんなで環境について考えてみませんか。ぜひ、ご参加ください。（詳しくは3面をご覧ください）

環境省では毎年7月7日を「クールアース・デー」として、全国のライトアップ施設や家庭での照明の一斉消灯を呼びかけています。環境月間イベントで手作りしたキャンドルホルダーを使って「クールアース・デー」を過ごしてみませんか。

そして「省エネ・節電」といえば、「広げよう！緑のカーテンコンテスト」を今年も開催します。皆様自慢の緑のカーテンでコンテストへの参加をお待ちしています。（詳しくは3面をご覧ください）



# 夏の環境学習講座などのお知らせ



夏休みはイベントがいろいろあります。ぜひ、この機会に体験してみませんか。

## 自然・人文博物館の夏休み企画（一部を紹介）

「潮だまりの生き物」

開催日 7月23日（日）  
時間 9：30～12：00  
場所 天神島臨海自然教育園  
参加費 1人50円  
定員 30人  
締切 7月8日（土）  
☆事前申込制。小・中学生対象。小学生は保護者同伴。



「身近な植物の標本づくり」

開催日 8月11日（金・山の日）  
時間 ①10：00～12：00 ②14：00～16：00  
場所 本館科学教室  
参加費 無料  
定員 20人  
締切 7月28日（金）  
☆事前申込制。小・中学生対象。小学生は保護者同伴。  
希望の時間①か②を書いて申込む。

申込方法 締切日までに往復はがき下記事項を記入して、下記問合せ先まで、お送りください。  
往信面①行事名と参加者全員（家族のみ）の②住所③氏名（ふりがな）④年齢⑤電話番号  
復信宛名面①参加者（代表者）の住所②氏名

宛先（問合せ先）

横須賀市自然・人文博物館  
〒238-0016 横須賀市深田台95番地  
TEL046-824-3688  
E-mail：m-bes@city.yokosuka.kanagawa.jp



## 講演会「南極大陸 生命の不思議 ～ペンギンがみた“生きる”とは何だろう～」

講師 渡辺 佑基 氏  
国立極地研究所・総合研究大学院大学准教授  
第52、第53、第58次日本南極地域観測隊  
開催日 7月22日（土）  
時間 14：00～15：30  
会場 生涯学習センター（ウェルシティ市民プラザ2階）  
参加費 無料  
申込方法 7月14日（金）までに横須賀市コールセンターへ申込む①講演名②住所③氏名④電話番号  
TEL046-822-2500 FAX046-822-2539  
問合せ先 生涯学習課 046-822-8483

## リサイクルプラザ「アィクル」で体験学習 「日産わくわくエコスクール」

開催日 8月1日（火）  
場所 リサイクルプラザ「アィクル」  
参加費 無料  
定員 30人（申込多数の場合は抽選）  
締切 はがき7月20日（木）必着  
E-mail 7月20日（木）17時まで  
☆事前申込制。小学4年～6年生対象。  
（ご不明な点は下記の問合せ先まで）  
参加者全員にリーフモデルカーをプレゼント。



申込方法 締切日までに郵便はがき又はEメールに下記事項を記入して、宛先（問合せ先）まで、お送りください。

★記入事項

- ①講座名「日産わくわくエコスクール」
- ②住所・電話番号③氏名（ふりがな）
- ④学年（年齢）⑤電話番号⑥学校名

宛先（問合せ先）

リサイクルプラザ「アィクル」 担当：渡部（わたべ）  
〒237-0062 横須賀市浦郷町5-2391  
TEL 046-866-1196  
E-mail：aicle@city.yokosuka.kanagawa.jp

## 追浜コミセン「おっぱま・子どもサイエンス【海】 JAMSTEC横須賀本部・施設見学会」

開催日 8月3日（木）  
時間 13：00～16：00  
（12時30分までに追浜コミセン南館ロビーに集合）  
場所 JAMSTEC（国立研究開発法人・海洋研究開発機構）横須賀本部  
参加費 1人50円（保険料）※集合場所までの交通費は自己負担  
定員 25人（応募多数の場合は抽選）  
締切 7月10日（月）必着  
☆事前申込制。小学4～6年生対象（保護者同伴不可）

申込方法 締切日までに返信用はがき（62円のもの）を持参の上、直接来館、又は往復はがき（62円のもの）  
・E-mail・FAXに下記事項を記入して下記宛先（問合せ先）までお送りください。

★記入事項

- ①講座名「JAMSTEC見学」希望②郵便番号・住所③氏名（ふりがな）④年齢⑤電話番号

宛先（問合せ先）

追浜行政センター 担当：追浜コミュニティセンター  
〒237-0061 横須賀市夏島町9番地  
TEL・FAX046-865-1145  
E-mail：opph-bes@city.yokosuka.kanagawa.jp

## 三浦半島「自然ふれあい学校」 サマースクール2017

湘南国際村めぐりの森／湘南国際村センター

- 7月15日（土）①野原と小川の自然観察会
- 7月16日（日）②環境カウンセラー養成支援講座
- 7月16日（日）③森の自然観察会
- 7月17日（月・海の日）④第6回三浦半島森づくりフォーラム

参加申込方法/申込先（問合せ先）

三浦半島「自然ふれあい学校」<http://sizen-fureai.com>  
野崎（携帯）080-5475-1395  
E-mail：miurafureai@gmail.com





# 緑をひろげよう



植物の緑にはストレスの緩和やリラックス効果が期待されています。本市では「みどりの基本条例」に基づく市街地の緑化を推進し支援する制度があります。花が咲く樹木や実（果実）のなる木を植栽して、お庭に「みどり」を増やし、樹木や花を楽しみませんか。

## 「民有地緑化支援制度」 みどりの街なみづくり補助金 ～「みどり」豊かなうるおいある街をめざして～

市では住宅や事業所等を緑化される方に補助金を交付します。  
対象 ①横須賀市内に住宅を所有し自ら居住する人  
②横須賀市内に事業所【店舗、事務所、工場等）を所有又は管理する人  
※市街化調整区域および風致地区は対象外となります。

対象外 プランターやコンテナでの緑化  
芝生や草花

制度に関する詳細は、市ホームページをご覧ください。  
(みどりの街なみづくり補助金で検索)

申請・問合せ先  
横須賀市環境政策部自然環境共生課 【受付時間】8:30~17:00(12:00~13:00を除く)  
TEL046-822-8559 FAX046-821-1523 E-mail: ne-ep@city.yokosuka.kanagawa.jp



## 広げよう!!緑のカーテンコンテスト

横須賀市地球温暖化対策地域協議会では、今年も「広げよう!!緑のカーテン」コンテストを開催します。皆様のご参加をお待ちしています。

応募方法：次の①又は②で応募

- ①応募用紙（環境企画課・各行政センター・協議会のHPより入手可）に必要な事項を記入後、下記提出先へ郵送又は持参
- ② E-mailに写真データ（タイトルをつけ2点まで）を添付の上、E-mail本文に氏名（フリガナをつける）  
・住所・電話番号・我が家の緑のカーテン自慢を記入し下記E-mail宛にお送りください。



対象 横須賀市在住の方

締切 平成29年9月11日（月）郵送は当日消印有効  
E-mail、持参は17時締切

表彰 最優秀賞1点 優秀賞4点 佳作10点程度を予定

応募にあたってのご注意

- ・応募していただいた写真などを、当協議会ホームページ等で省エネのPRに使用させていただくことがあります。予めご了承ください。
- ・原則、応募作品は返却いたしません。

提出先および問い合わせ先

横須賀市地球温暖化対策地域協議会事務局（横須賀市環境政策部環境企画課内）  
〒238-8550 横須賀市小川町11番地 TEL046-822-8524 FAX046-821-1523  
E-mail: earth\_rescue@ecoyoko.com

## 環境月間イベント

### ECO体験

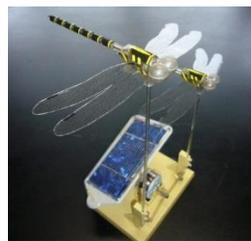
「かんたん！オリジナルキャンドルホルダーづくり」

日時 平成29年6月18日（日）11時～16時

場所 ショッピングプラザ横須賀  
2Fセンタープラザステージ

内容 ①キャンドルホルダーづくり  
②発電体験  
③展示コーナー

問合せ先 環境政策部環境企画課 TEL046-822-8327





6月も半ば頃になると、ササの葉と七夕かざりを目にするのが多くなります。今回は横須賀でみられるタケやササのなかまについていくつか紹介します。

### ■タケとササのつくり

タケとササのなかまはどちらもイネ科というグループに含まれます。

イネ科植物の茎は稈（かん）とよばれ、だいたいは丸くて中空です。稈には節（せつ）があり、節から枝をのばします。葉は、稈を抱いている葉鞘（ようしょう）と、平らな葉身（ようしん）という部分からなります。

また、タケやササの稈は、はじめは鞘で覆われています。この覆っている鞘を稈鞘（かんしょう）といいます。タケが稈鞘で覆われている様子は、私たちにとって身近な「たけのこ」の姿になります。



### ■タケとササの違い

タケとササは区別できるのでしょうか。タケの語源は「高き木」、ササの語源は「細小竹（ささだけ）」であることから、稈が大きいものをタケ、小さいものをササとされてきました。現在、便宜的に稈鞘（いわゆる竹の皮）が成長するにつれて落ちるものをタケ、いつまでも残っているものをササと呼んで区別しています。しかし、タケとササをはっきりと区別することが難しいのが実際のところですよ。

#### タケ

- ・稈鞘が生育後に落ちる
- ・葉脈が格子状にみえるものが多い

#### ササ

- ・稈鞘が生育後も残る
- ・葉脈は平行脈

### ■横須賀でみられるタケやササのなかま

#### ・タケ類

横須賀では、マダケ、ハチク、モウソウチク、ホテイチクといった稈が太いものがよくみられます。これらは、材や食用に利用するために中国から伝わり、日本各地で栽培されたものが野生化したといわれています。

#### ・ササ類

横須賀ではアズマネザサが多く見られると言われていますが、アズマネザサによく似たアオネザサ（別名トヨオカザサ）やシブヤザサも多く分布しています。これらは海岸近くによく生育し、アズマネザサとは葉が広めで毛がある点で区別できます。さらに、名前に「タケ」とつく「ササ」のなかまもあり、メダケやヤダケ、これらの雑種由来といわれているヨコハマダケも市内で見つかっています。

#### 参考

神奈川県植物誌調査会 2001「神奈川県植物誌2001」神奈川県立生命の星・地球博物館。  
鈴木貞雄 1976「日本タケ科植物総目録」学習研究社。  
室井縛 1969「竹・笹の話」北隆館。

（横須賀市自然・人文博物館 山本学芸員）

みなさまからのECOな情報も募集しています。



発行：横須賀市・環境教育・環境学習ネットワーク会議 協力：横須賀市自然・人文博物館  
（発行元）〒238-8550 横須賀市小川町11番地 横須賀市環境政策部環境企画課  
TEL: 046-822-8327、FAX: 046-821-1523、E-mail: ep-ep@city.yokosuka.kanagawa.jp  
☆ HPは横須賀市HPから「ECO通信」で検索。（カラー版でご覧いただけます！）  
<http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/4110/k-gakusyu/ecotushin/ecotushin.html>  
この情報誌は、横須賀市環境教育・環境学習ネットワーク会議のトリアル事業の一環として発行しています。  
「環境教育・環境学習ネットワーク会議」とは、市民・事業者・学校・行政等のさまざまな主体が集まり、連携して市内全体の環境教育・環境学習の推進を図るための会議です。